

9月補正予算における第1種陸上競技場整備費用の増額根拠について

1. 再入札に係る工事内訳書の積算方法

再入札に向け、県の単価、刊行物に掲載されている単価を直近のものに見直すとともに、各種工事の専門業者（下請け）や材料メーカーから見積りを徴取し、市場の取引状況を確認したうえで、それぞれの実勢価格と判断できる単価を基に積み上げ、その結果として必要な額を予算に計上させていただいた。

2. 9月補正予算による増額の根拠

(1) 増額の内訳

総額：約 20.8 億円

工種別の増額内訳は下表のとおり

<工種別内訳比較表>

(税・経費込み、単位：千円)

	当初入札	再入札	増加額
直接仮設・土工事	466,810	917,000	450,190
躯体工事（鉄筋、コンクリート、型枠）	1,849,224	2,158,501	309,277
地業（杭・地盤改良）工事	1,036,969	1,239,508	202,539
鉄骨、PC、屋根、金属工事	3,137,547	3,909,538	771,991
ユニット工事	575,383	764,681	189,298
フィールド工事	980,553	1,111,714	131,161
その他工事	625,914	652,658	26,744
合計（予定価格）	8,672,400	10,753,600	2,081,200

(2) 増額の要因

○直接仮設・土工事

⇒ 当初は、標準的な仮設計画に基づき積算していたが、建設業界における労働者不足や本工事の特性から、作業効率や安全性をより向上させる必要があるため、足場、揚重機、敷鉄板等の仮設計画を見直した。

○躯体工事（鉄筋、コンクリート、型枠）

⇒ 当初は、標準的な刊行物単価を基に、当施設の特異性も一定考慮の上、仕様に応じた積算をしていたが、本工事の特性や市場の実勢をよりの確に反映させるため、専門業者の見積りを徴取して、これに基づく単価の見直しを行った。

○その他の工事（地業、鉄骨、PC、屋根、金属、ユニット、フィールド工事等）

⇒ 当初から専門業者の見積りに基づき積算していたが、市場の実勢を的確に反映した最新の単価とするため、専門業者への見積りの取り直しを行った。